

守恒小だより

発行者 北九州市立守恒小学校

校長 新森 修二

北九州市長さんに声を届けました。

北九州市は、街づくりなどの政策に、子どもたちの視点や意見を反映させるための取組を行っています。今年度は、「みらい政策委員会」というグループを立ち上げて、メンバーとなっている小中学生や高校生に街づくりなどに関する提案を考えてもらっていました。

守恒小学校もこの取組に参加することとなり、5年2組が代表になりました。担当した案件は、「思いっきり公園」です。だれもが思いっきり楽しめる公園にするためにどうすればよいかを考えました。

まず、10月3日（木）に北九州市教育委員会 元指導部長の大庭先生をお迎えし、5年2組で「思いっきり公園」について意見を出し合いました。子ども達の意見は施設のことやルールのことなどに及びました。

これらの意見を集約し、10月17日（木）にこの取組に参加している市内の小中学生や高校生達が市役所に集まり、提言をしました。

守恒小学校は、「葉山中央公園」「守恒4丁目東公園」の2つを選び、子どもだけでなく多くの方が楽しく快適に過ごせる公園となるよう次のことを提案しました。

<利用のルール>

- 1 他の利用者と譲り合って公園を使おう
- 2 ボールが飛び出さないよう、ボールの遊び方を考えよう
- 3 ボランティア活動に参加し、草刈りをしよう
- 4 トイレをきれいに使おう

<施設面の提案>

- 1 時計を設置する
- 2 トイレをきれいにする

代表の児童は、このルールを自ら守るだけでなく、守恒小学校全体にも広げていくことを伝えてくれました。

報道によると、今回、子どもたちが行った提言の中には、すでに市が事業化を決めたものがあるということです。

このような取組が、子どもたちの街への愛着や、街づくりに積極的に取り組むきっかけになるのではないかと思います。

